



# 原っ子つうしん

目には見えないけれど大切なもの「命」「思いやり」「一生懸命」

令和6年

7月19日(金)

印西市立原小学校

校長室便り

〈第4号〉

## <学校教育目標>

人間性豊かな、考え行動できる心身ともにたくましい子どもの育成

～自らの可能性に挑戦する活力ある原っ子～

## 夏休みを安全に過ごすために

### 1. 感染症対策・熱中症対策

・手洗いやうがい、水分補給やこまめな休息等で、感染症及び熱中症対策を継続する。

### 2. 交通安全 <毎年、市内でも小中学生の事故が報告されています。>

・飛び出し注意。道路横断では「止まる・見る・待つ」を習慣づける。

・自転車での交通ルールを守る。スピード、左側通行、ながら運転禁止、ヘルメットの着用等。  
場合によっては加害者になってしまうこともあることを自覚して走行する。

### 3. 水の事故防止 <川遊びや海水浴は、必ず保護者の監督の下で。>

### 4. 防犯 <いかのおすし・いかない、のらない、大声でさけぶ、すぐ逃げる、知らせる>

・遊びに行くときはどこへ、誰と、いつ帰る を言ってから。

### 5. 防災 <地震は、いつ起こるか分からない。>

・「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所へすばやく身を寄せる。建物やブロック塀など、壊れそうな場所から離れる。

<一生懸命、一所懸命> 以下は、本日の全校集会で、私が児童に伝えた話の一部です。

今週16日(火)今年度のプール(水泳学習)が終わりました。原小のみんなが、きれいな水のプールで、安全に学習できるように、原小の先生たちは毎日、気温や水温を測ったり、きれいな水のままでいられるように、薬を入れたりしていただきました。6月、7月はとても暑い日が多かったですね。暑い日が続くと、プールの水は温かくなり過ぎてしまうだけでなく、汚れもひどくなって、水の色が変わってしまうことがあります。そうならないために、原小の先生たちは、土曜日や日曜日にも来て、プールに薬を入れて、一生懸命プールの水をきれいにしてくださいました。私は、そんな先生たちの姿を見て、「とても素晴らしい先生だな。原小学校の誇りだ。」と、心からそう思いました。休みの日に、わざわざ学校に来て、みんなのためにプールを守ってくれたからです。みなさんは、「一生懸命」という言葉を知っていると思います。これは、自分の一生をかけて頑張るという意味があります。しかし、元々は「一所懸命」という言葉から生まれました。この「一所懸命」という言葉は、元はと言えば「一つの場所を、命を懸けて守る」という意味があって、それは、やがて「何事も一点に集中して頑張れば、どんなことだってできる」という意味にも使われるようになりました。このように、自分のことだけでなく、自分たち以外のために「一生懸命」に、自分の思いや気持ちを一点に集中させて「一所懸命」に頑張る先生が、この原小学校にいらっしゃるからこそ、原小のみなさんも、その姿を見て頑張れるんだなあ、私は思っています。

さて、いよいよ明日から42日間の夏休みが始まります。そして、一週間後には、フランスのパリでオリンピックが始まります。たくさんの「一生懸命」が様々な場面で見られることでしょう。その姿を見て、自分の「一生懸命」をさらに輝かせてほしいと思います。